

第48回八幡塾

NPO 法人近江八幡市中間支援センター

旧市街地の現状と課題、 重伝建に囲まれた地区を中心として

旧重伝建地区にある、明治以前の建物の調査を通して、地域の住民の現状と、近江八幡市に類似の地区の状況から、住民・企業・行政などがどのような役割を担い、どのようなまちにしていくのか、一緒に考える。

講師の藤木良明氏は、元愛知産業大学建築学部教授、元日本イコモス国内委員会理事で、近江八幡市の伝統的建造物群保存地区を調査中に、為心町にある古民家を取り壊されそうになったのを見て、「今残さないと大変なことになる」と家屋の購入を決意し、修繕して現在その建物に住んでいます。

日時：平成30年9月29日(土) 13時30分~15時30分 (受付 13時00分)

会場：近江八幡市ひまわり館 1階ホール

(近江八幡市土田町 1313) TEL:0748-33-1600

講師：藤木良明氏 (滋賀県立大学人間文化学部地域文化学科教授)

参加費：無料 ※駐車場に限りがあります。公共交通機関を御利用下さい。

主催：NPO 法人近江八幡市中間支援センター

お問合せ・申し込み

TEL 0748-33-5510 (平日 10時~16時)

FAX 0748-33-5697

メール chukan@npo-omi8man.com

第48回八幡塾

NPO 法人近江八幡市中間支援センター

旧市街地の現状と課題、 重伝建に囲まれた地区を中心として

何が失われ、
何を見失ってはいけないのか？

民家は滅びようとしている。文化財として形が残され、あるいは空間が利活用されることはあっても、社会や家族が変容したため生活の器として住み継がれることは容易ではない。本書は民家が生きていた最後の時期に、民家を訪ね、空間と人々の生き様を丹念に追いつけた著者による記録。民家が私たちに語りかける声が聞こえる！

藤木良明

1941年三重県生まれ、博士(工学)、一級建築士。
一級建築士事務所(株)スペースユニオン主宰、愛知産業大学造形学部教授、日本イコモス国内委員会理事等を歴任。
40年余りかけ各地の民家を訪ねるとともに、福島県奥会津の水引集落の茅屋根を支援するNPO法人山村集落再生塾を立ち上げ、10年間活動。
現在、近江八幡市の江戸中後期の町家に居住。

民家

Minka

最後の
声を聞く

藤木良明

学芸出版社 | Gakugei Shuppansha

📖 図書目録
📖 セミナー情報
📖 電子書籍
📖 おすすめの1冊
📖 メルマガ申込
(新刊 & イベント案内)

🌐 WEB GAKUGEI

www.gakugei-pub.jp/

🐦 Twitter
📘 Facebook

学芸出版社